

尿沈渣活用による尿培養省略化の取り組み

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

尿一般検査と尿培養検査は尿路感染症診断を目的とする場合、同時に実施することが多いです。それぞれ検査方法が異なり、所要時間は尿一般検査が約1時間と短いですが、尿培養検査は1～2日かかります。尿一般検査で炎症の指標である白血球数や、細菌や真菌などを認めない場合でも、通常は尿培養検査を実施します。尿培養検査は、病原微生物を検出した場合は微生物の特定や薬剤感受性試験に進みますが、検出しない場合は陰性の結果を1～2日かけて報告するのみです。

今回、尿一般検査結果を解析して尿培養検査が陰性となる結果の条件を導き出し、陰性と予想される尿培養検査を省略することができれば、尿培養検査を効率化することが可能であると考え、この研究を実施します。

研究の対象となる方

2020年4月～2020年9月に当院で同日に尿一般検査および尿培養を実施された方。

2023年2月～2023年9月に当院で同一検体を用いて尿一般検査および尿培養を実施された方。

使用する試料・情報

下記の検査結果。

尿一般：混濁、亜硝酸塩、白血球反応、尿中白血球数、細菌数、酵母様真菌数

尿培養：菌量、同定菌種、グラム染色

使用開始予定日：2024年7月2日

研究予定期間

2024年7月2日～2027年12月31日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 中央検査部 松岡拓也

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 中央検査部 松岡拓也

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)